

二十五年ほど前。うなぎを食べることだけを目的に浜松まで行った。当時、私は神奈川の大学で観光学を専攻していた。この観光学のゼミの三年生は、毎年秋に先生と一緒に浜松でうなぎを食べることが恒例となっていた。浜松駅にほど近いうなぎ屋さんに入ると、

「交通費は自腹だけど、うなぎ代は僕が出してあげるよ」
すでに七十歳近くであった好々爺の恩師が十数名のゼミ生を前に言った。

私たちは遠慮なく、うなぎの特上を注文させていただいた。味はもちろんのこと、器もお店の雰囲気も最高だった。従業員の方の接客も心地良いものであった。

そこで、恩師から一言。

旅の思い出のポイントは、風景、人情、食事の三つです。このお店にはこの三つが全てあります。分かりますね！

ちなみに、秋のうなぎは冬に備えて栄養を蓄えるのでとても美味しいのです。ですから、この時期に君たちを連れてきた私のおもてなしは素晴らしいものです。

恩師の講義はいつも最高だった。